



終業式に ～笑顔輝く花南生達へ～

苦しくともあきらめずに頑張り切るとは、こういうことなのか…。

つらくとも笑顔で前を向くとは、こういうことなのか…。

今年度が始まって4ヶ月、様々な場面で生徒諸君が繰り広げたドラマに、多くのことを教えられたような気がします。長い時間をかけて成長を重ねてきたプロセス、折々の喜びや悔しさや一体感に思いを馳せました。特に3年生諸君、花南を引っ張ってきた君たちの努力に最上級の賛辞を贈ります。

運動部では全国大会にソフトテニス部女子、体操部女子、東北大会にハンドボール部女子、陸上競技部、弓道部が出場し、文化部では囲碁将棋部（将棋）、家庭部（ファッション甲子園）が全国大会に出場します。今月末からの全国大会に出場する諸君の健闘を心から祈ります。

全体として、例年を上回る素晴らしい結果が出ています。全校生徒で喜びを共有し、花南生それぞれが夢に向かって頑張る励みにしてほしいと思います。また、「結果だけ言えば去年と変わらないけれど、中身は全然違うね。あと少しで一つ格上のチームになりそうだね」そんな会話をした部もありました。1、2年生には、3年生の思いを引き継いで頑張してほしいと思います。

そして、全校生徒が一丸となって応援した高校野球夏の大会。決してあきらめずチームのために頑張り抜く選手の姿が印象的でした。硬野の生徒諸君、本当に立派だった！そして、応援団、チアリーダーを始め笑顔で応援し続けた全校生徒諸君、本当にありがとう！

様々な経験、様々な思いをしっかりと整理して、これからの日々に活かしてください。喜びも悔しさも達成感も、すべてが人生の糧となります。

「乗り越える力」を身につけよう！

この夏、「乗り越える力」を身につけることを意識しましょう。

登山をイメージしてください。君たちなら、少くく険しい山道もコツコツ登っていくと思います。しかし、頂上の前にはひどく困難に見える難所があります。学習なら問題が解けない時、受験なら志望先に成績が足りない時などが、その難所にあたるでしょう。その時に、「あ、無理…」と思わないでほしいのです。自分の頭で考え、自分で行動し、乗り越える努力をしましょう。自分の力だけで難しければ、先生や周囲の力も借りましょう。努力して困難を乗り越える経験を積むと、「乗り越える力」が身につきます。すると次の困難にぶつかった時には、「大丈夫、自分は乗り越えられる！」と思うことができるのです。部活動で、追い込まれた状況を乗り越えた経験がある人ならば、その感覚がイメージできるでしょう。高校生活の中で「乗り越える力」を身につけ、部活動、学習、進路、そして人生に、活かしてほしいと願っています。

3年生諸君は「清新」、1～2年生諸君は「未来手帳」を使って、自分の未来や目標達成をイメージしながら日々の自分を見つめていることと思います。なりたい未来の自分と今日の自分をつなぐために、「乗り越える力」は大きな助けになります。





自分を、他者を大切に～改めて君たちに伝えたいこと～

昨年の夏休み前日、知事と教育委員長のメッセージが全員に配付されました。県内の中学生がいじめを苦に自ら命を絶つという辛い出来事があったのです。

花南生諸君は思いやりと優しさに溢れ、元気に日々を送っているように見えます。とは言っても思春期の君たちには悩みもあり、挫折感を味わうこともあるでしょう。想像を超える人生の苦難に直面することもあるかもしれません。改めて伝えておきたいと思います。

自分には耐えられないと思うような辛いことがあったら、決して一人で抱え込まず、周囲の大人、家族や私たち花南の教員にSOSを出してほしいと思います。何よりも大切なのはあなたの命です。また、あなたの周囲に心配な状況の友人がいたら、同じように周囲の大人につないでください。きっとよりよい方法を一緒に見つけていけると思います。

花南生は、人の心に対する想像力、寛容さ、思いやりを持ち、正義感に照らして動ける人であってほしいと思います。人の感性は多様です。Aさんにとって何でもないことが、Bさんを深く傷つける場合もあります。多様な感性を認め、尊重し合う高校生活であってほしいと思います。

夏休み中も心身の健康を守り、元気に始業式を迎えてください。

ありがとう花南！

「一言お礼を申し上げたくてお電話しました」——その電話は次のような内容だったそうです。

お店で買い物を終え駐車場の車に戻ろうとしていた時に、弾みでカートが倒れ、大量の荷物がそこら中に散乱してしまいました。その時、自転車で下校途中の花南生数人が駆け寄ってきて、散乱した荷物を全部拾い集めてくれたんです。爽やかな態度でした。本当に助かったし、他人のために^{とっさ}に行動してくれたことに感激しました。きっと日頃から立派な生徒さん達なのだと思います。

花南生の素敵な行動を嬉しく誇らしく思いました。お礼の電話をしてくださった女性も、きっと素晴らしい方なのだろうと思います。さりげなくお礼の電話ができる人って、とても素敵です。

全く知らない人の身に起こったトラブルは、見えないふりをして走り去っても誰からも^{とが}咎められません。「別に、余計なことしなくてもいいかな…」そう思ったとしても不思議ではない、そんな場面であえて駆け寄っていった花南生の心の持ち方、そして勇気をたたえたいと思います。

人を支えるのは、善意の人間関係、人と人とのつながりです。生きていく中で、厳しい状況に耐えなければならぬ場面もありますが、そんな時でも助けてくれるのは人と人とのつながりです。それは、待つていれどどこからか降ってくるものではなく、自ら他者への善意を示すことでつながれていくものでしょう。善意を行動で他者に示す習慣を積み重ねていけば、その人生は善意のつながりに包まれ、充実感と安心感に満ちた幸福なものになっていきます。日頃から、花南生は人と人とのつながりを大切にできる人々であると感じていました。今回のことは、その思いを確信に変えてくれたように思います。素敵な生徒諸君に感謝し、品格ある生徒諸君の集う花巻南高校に感謝したいと思います。

ありがとう花南！

